



# 議会だより



1月4日 村長から村職員に年頭の訓示

12月定例会 『**関川村消防団員に関する条例(略)**』を改正 ..... 2ページ

一般質問 **3名登壇** ..... 3～4ページ

# 『関川村消防団員に関する条例(略)』を改正

平成23年第7回定例会は12月13日～21日までの9日間の会期で開催し、初日は3議員から一般質問がありました。提案された議案は、承認2件、条例の制定・一部改正、補正予算など9件、人事に関する同意1件をいずれも可決・同意しました。また、請願2件を採択し、その意見書を国へ提出しました。  
主なものをお知らせします。

## 【補正予算】

### 一般会計

#### 総務費

##### ○地域振興費

出会いサポート事業の委託料として100万円を計上。

##### ○豪雨災害支援対策費

豪雨被災者生活再建支援補助金として、村が3分の1の経費30万円計上。

##### ○選挙費

県議会議員・村議会議員一般選挙費として146万円減額。

#### 民生費

##### ○心身障害者福祉費

介護給付費・訓練等給付費として730万円、更生医療給付費(自立支援事業)120万円計上。

#### 農林水産業費

##### ○畜産振興費

農業環境保全事業補助金(放射能による堆肥処理)として不足分45万円計上。

#### 土木費

##### ○河川総務費

河川(上関)工事請負費として資財調達の必要がなくなったため253万円減額。

#### 教育費

##### ○学校管理費

中学校の備品(パイプ椅子・式典用演台)購入として179万円計上。※一部村人会からの寄付で購入。

#### 特別会計

##### ○国民健康保険事業特別会計

医療給付費626万円増。

##### ○介護保険事業特別会計

保険給付費6,000万円増。

関川村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団においても、青壮年層の人口の減少、村外に勤務するため日中不在になる人が多くなるなど、近年深刻な問題を抱えています。

しかし、消防団は火災だけでなく防災や災害対応、行方不明者の捜索など、地域に密着した最も重要な役割を持つ組織です。

そこで、村では現役消防団の幹部の皆さんを中心に、一年余りにわたって、現状で最も効率的な消防団をめぐり、組織の見直しを図り、組織の在り方や人員の配置を研究、検討をしてきました。その結果が今回の改正になりました。

なお、広域の常設消防では火災時の消防車の出動台数を2台から3台に増やし、万全を期します。

#### 主な改正点は

- ・分団数を7から3に編成変えをする。
- ・分団の中にコミュニティ

- ・ごとの方面隊を創設する。
- ・分団、方面隊で人員不足が生じた場合他の分団、方面隊で増員できる。
- ・定数は50名減員する。



#### 関川村暴力団排除条例の制定

この条例は、暴力団にし基本理念を定め、村及び村民等の責務を明らかにし、村民の安全で安心な生活を確保しようとするものです。全国の自治体でも条例化が進められています。新潟県では昨年8月に条例を制定しています。

# 村独自で定期的に放射線量測定を

## 安心安全のために測定器を購入

**議員** 3月11日の東日本大震災、津波により発災した東京電力福島第一原発事故による放射線について村民は不安をもっており、特に乳幼児、小中学生のいる家庭では不安は更に大きい。村民が安心して生活していくには放射線量の動向に注視して、国や県の放射線測定だけでなく、村でも定期的に測定すべきと思うが村長の考えは。

**村長** 同感です。国、県の測定だけでは不十分で、更にきめ細かい測定をするために携帯型測定器を1台購入済で、2月頃までにもう1台高性能なものを導入する予定です。まず、重点的に保育園、小中学校を測定するつもりです。

**議員** 人の多く集まる観光施設、スキー場等でも測定すべきと思うが、また学校給食の食材について、

村で測定する予定はあるか。

**村長** 測定方法や測定場所

を専門家の意見を聞きながら進めていきます。

**教育長** 学校給食の食材は大量に購入していますが、検査済みのもので心配はありません。

## 住宅火災警報器の普及率向上を

### 火災の早期発見のため積極的に取り組む

**議員** 昨年、村では火災予防の積極的な取り組みとして、非課税世帯で75歳以上の高齢者だけの世帯等に無償で警報器を設置する助成金125万円250世帯分を予算計上したがその効果は。

**村長** 250世帯中、180世帯は設置済になっていますが、昨年10月に消防団が実施した村全体の普及率は、18%と低い状況でしたので、今後も更に積極的な方策を展開していきます。

# 来村する学生ボランティアの活動は

## 村民との有効な交流を行っている

**議員** ①「いで湯の関川ふる里会」は設立以来29年間に延べ9,302名が加入され、会費が累計で2億8,000万円となっている。会費の使いみちと村の経済効果は。

②さいたま市との交流「まつりサミット」を関川村で開催する企画は断念したのか。

③学生ボランティア活動（IVUSA）が来村して7年、学生の数が700人、活動内容は。卒業後村に永住した人はいるのか。

④住宅リフォーム補助制度の予算500万円の執行状況は。

**村長** ①ふるさとを持たない都市住民との交流を目的に設立し、毎年300人を超える入会があります。会員からのふるさと納税も毎年トップです。年会費3万円で村内の物産を調達し発送しています。

②開催を断念した理由

く、大震災発生などの理由

で先送りをし、平成25年の蛇年に実施を考えています。

③IVUSAの学生が来村したのは平成16年からで、特に本年は180名と多くの学生が訪れます。活動内容としては、大したもの蛇まつりのほかに、高齢者との交流、林道の草刈り、保育園の草取り、下水の掃除などです。永住した人はいません。

④村内での仕事を増やし活性化に資することやトイレの改修を促し下水道への加入を促進する目的で、申請が41件、377万円を執行しており、まだ余裕があります。

**議員** 学生が大したもん蛇まつりの担ぎ手に参加していた、だくのは村内に担ぎ手が年々不足しているときに感謝をしているが、本来村民自ら盛り上げていくのが祭りの趣旨と考えるが、仕事を増やす対策はもつとPRを。

**村長** 蛇担ぎの意欲が村民の中からわいてくる努力が必要と考えます。機会をとらえてPRしていきます。



渡辺 秀雄 議員

測定方法や測定場所



渡辺 健作 議員

断念した理由



菅原 修 議員

### 過疎化を防ぎ魅力ある村づくりをするには 決手になる対策がないが可能な分野で支援

**議員** 閔川村の人口は1年間で約1000人、10年間で約10000人を超えるほどの人口が減っている。村は少子高齢化が進むとともに、青年層の働き場が少なく、生きがいを持って日々生活する希望が持てないことも要員であると思うが、村としてこの過疎化を防ぐために、これまでどのような政策を行なってきたのか、またこれからどんな事柄を入れて政策を行なっていくのか伺う。

**村長** 閔川村の人口は昭和22年をピークに減少を続け、国勢調査の結果(確定)では6438人まで落込んでおります。昭和55年に過疎地域に指定されて以来、その対策を進めてきているところであり、直近の事業を幾つか申し上げます。若者の定住促進のために安い家賃で入居できる若者向けメゾン下関の建設や、子育てしやすい環境づく

りのため中学校卒業まで医療費に要する費用負担に対する支援、保育料などを近隣自治体に見劣りしない額まで引き下げることで、子宮頸がん予防法ワクチンの無料接種などほかに先駆けた取り組みを行なっております。決め手となる対策がない状況ではあります。若者向けの働く場所や支援が大事だと思いが、我々

に村はと問われた時、若者を全面的に出しているんだと自慢できるものをぜひ作っていただきたい。若者を村挙げて支援していくんだという気概で取り組んでいただきたい。**村長** 自慢できるものをつくれというご意見であります。これは、私も理想的にはそういう方向を考えております。これからの努力を重ねてまいります。

### 不妊治療への助成制度について 新年度予算に計上して実施

**議員** 隣接2市で実施されている不妊治療への助成制度を村でも導入する考えはあるか伺う。

**村長** 県の助成制度では村内でこれまで延べ9人が利用し、来年度さらに拡充するということが、村でもさらに上乘せずべく来年度から実施する予定で現在準備を進めています。

**議員** 不妊治療にはリスクがあり、また多額な費用もかかるので、早期実現を願う。

**村長** 個人情報問題もあり、対象者の把握が難しいが、来年度から導入すると約束いたします。不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減して、多くの子どもが生まれることを期待いたしております。

### 編集後記

「競争を勝ち抜き、選ばれて村の職員となった皆さんを、商品のように返品することはできないのだから…」平田村長の年頭訓示の一部である。

職務と責務を遂行せよとの戒めにも似た厳しさの中に、職員に対する期待といわねが感じられたのは、個人的なスピーチセンスのせいだけではなからう。

公務員の身分保障に対する世間の評価は厳しさを増している。しかし、その一方で「役場のしよは親切で丁寧だ」「真面目でよく働く」と言う声も耳にする。同感だ。「役場のしよ」に好意的な村民が少なからずともいるのである。

批判や叱咤の裏側に隠された思いを重く受け止めながら「職責に誇りと自信を持ち、さらなる力を発揮してほしい」と思う。

平田(ゆ)

### 新年あけまして

おめでとうございます。

本年も村議会活動に、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、この一年の、皆様方のご多幸とご健勝を、心よりご祈念申し上げます。

閔川村議会

